

2024年10月31日

各位

株式会社三井住友銀行

株式会社チクマに「SMBC 社会課題解決推進支援融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）は、株式会社チクマ（代表取締役社長：堀松 渉）に「SMBC 社会課題解決推進支援融資」を実施いたしました。

「SMBC 社会課題解決推進支援融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業の社会課題解決に向けた取り組み状況を確認した上で、①組織の社会課題への取り組み姿勢等に対する所見と、②ロジックモデル（事業活動を通じた社会課題への道筋を見える化したもの）の仮説を提示し、今後の取り組み推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、株式会社チクマについては、以下に記す事業を通じた社会課題解決について、取組推進に向けたアドバイス等を提供しました。

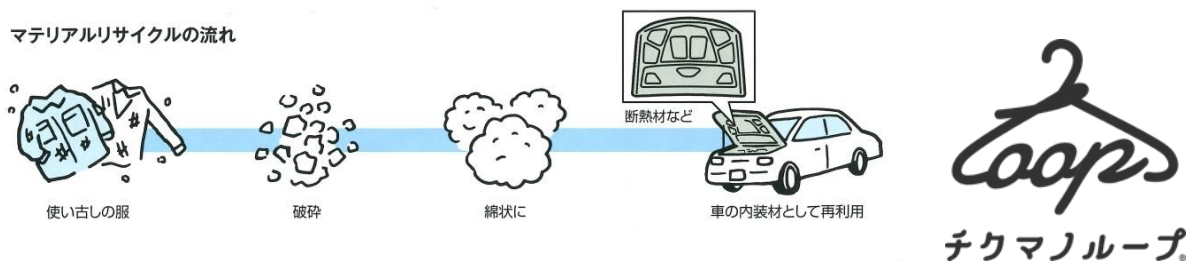
- ① ユニフォームや学生服等における環境配慮型素材の積極採用や、製品の環境負荷の見える化を通じた脱炭素への貢献

事業内容	ユニフォームや学生服事業において、ペットボトル由来のポリエステルや繊維to繊維のケミカルリサイクルのポリエステル、食品残渣等のバイオ由来のポリエステルから作られた環境配慮型素材を積極的に採用しておられます。また、業界初となるEPD(製品環境宣言)取得に向けて取り組んでおられます。
当該事業を通じて解決を目指す社会課題の概要	世界の平均気温は上昇し続けています。2023年は最も暑い年となり、産業革命前と比べて1.5℃近く上昇しました。気候変動は企業に様々なリスクをもたらします。海面上昇により沿岸部の工場の操業停止を余儀なくされるリスク（「物理リスク」）や、国による規制等の強化により事業活動が制限されるリスク（「政策リスク」）、社会・消費者の需要の変化により事業機会が縮小するリスク（「市場リスク」）等が考えられます。
社会課題解決への貢献内容	石油由来素材のバージン材料の使用を減らすことで、原材料の製造に伴うCO2排出量が削減され、気候変動の緩和に寄与しておられます。また、業界に先駆けて製品のライフサイクルにおける環境負荷を可視化し、環境に配慮した商品の選択肢を拡げておられます。

② 衣料品（制服を含む）のリサイクルの推進による廃棄物削減への貢献

<p>事業内容</p>	<p>2004年に「広域認定制度」の許認可を全国第1号として取得し、使用済み衣料品の回収、再資源化事業を展開しております。また、2014年からは、北九州市と国内初となる官民共同事業「衣類の回収リサイクル」（チクマノループ®）を開始し、衣類の再資源化とCO2排出量の削減効果を数値化するなど、脱炭素社会の実現などを目標に掲げたCSV経営を行っています。</p>
<p>当該事業を通じて解決を目指す社会課題の概要</p>	<p>国内では年間約4千万tの一般廃棄物、約3億8千万tの産業廃棄物が排出されていますが（2022年度）、廃棄物処理施設の老朽化や、地域の人口減少・高齢化に伴う担い手不足により、持続可能な廃棄物処理体制の構築が課題となっています。一方、日本の産業廃棄物のリサイクル率は約50%程度であり、さらなるリサイクル率の向上が求められます。</p>
<p>社会課題解決への貢献内容</p>	<p>使用済み衣料品を自動車内装材にリサイクルすることで、衣料品の廃棄削減に貢献しております。「服育」の取り組みは、衣料品に対する適切な選び方・着方・処分の仕方の理解を促進し、資源循環に対する人々の意識を高めることにもつながると考えます。</p>

株式会社三井住友銀行では、「SMBC 社会課題解決推進支援融資」を通じて、お客さまの幅広い社会課題解決に向けた取組を支援することで、お客さまとともに社会的価値創造の好循環を生み出す取組を推進してまいります。



以 上